

ごあいさつ

猛暑の日々もようやく終わり、秋の日差しが心地よい季節になりました。

9月議会では、平成29年度の決算が採決されました。【一般会計】歳出の総額およそ242億円、【特別会計】は209億円です。

平成29年に関しましては、財政調整基金（つまり市の普通預金）7億円取り崩しましたが、歳入歳出差引残高（1年間で余ったお金）は8.5億円になりました。つまり29年度に関しては貯金を崩さなくても黒字化を達成できたこととなります。

しかし、経常収支比率は98.2%と依然として高い数字であり、来年度は貯金を22億円取り崩す予定です。また子育て支援拠点建築費や維持管理費用、本庁舎建設計画など、事業における支出は今後も増える可能性が高く、市の財政は予断を許さない状況であります。

今後も、これまで以上の緊縮財政また、無駄を省いた財政運営をきちんとしていくよう行政に訴えていきたいと思っております。

小林かつゆき 後援会報 vol.12

安中市議会議員

小林かつゆき
議員活動報告

悪い情報はいい情報
(松下幸之助成功日めくりより)
自分の悪い情報もきちんと
受け止め、改善していくこと
が大事です。



今年の夏は
暑すぎました！

活動期間
平成30年
7月~9月

9月の
定例議会

一般質問

9月定例議会にて行いました一般質問の内容をお伝えします。

●観光振興について

観光全般 について



- 問** インバウンド対策として、店舗などのキャッシュレス化を進めるべきでは。
- 答** 国からの支援も受けられるので、宿泊施設などに情報提供をしていきます。

- 問** レンタサイクル(自転車貸出事業)の導入は。

- 答** 観光客のニーズや活用場所等について今後検討してきます。



- 問** 入湯税はこれまでは2300万円の収入だったが平成28年度からは1700万円に減っている。減額の理由は。

- 答** 平成27年に、入湯税の課税免除については、宿泊を伴わない入湯で、入湯料金が1,000円以下の入湯及び学校教育上の見地から行われる行事における入湯につきまして、課税免除とすることといたしました。

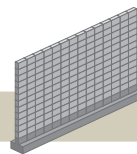
- 問** 磯部温泉街の駐車場・トイレの整備が必要です。磯部駅や公園のトイレは距離も遠く老朽化が激しい。市長は現状を確認しているのか。

- 答** トイレの老朽化は課題だと考えています。しかし、課題を単発ではなく、一体的に考え、一人でも多くお客を呼び入れ、買物をしてもらうなどの経済効果につながる解決方法を、地元の方々と協議していきます。



●防災対策について

ブロック塀 について



- 問** 渋川市が個人宅のブロック塀の除去などに、最大15万円を上限に補助金の創設を決めた。安中市はどうか。
- 答** 検討事項が多数あることもあり、課題について研究してまいります。

- 問** ブロック塀の除去等の工事を、現在市民にも人気の住宅リフォーム補助事業でも利用できるようにすべきでは。

- 答** 非常に人気のある制度であり、今年は約3倍の当選確率となっています。この制度に加えることは今後検討します。

●公共施設管理について

恵みの湯 について



- 問** 現状約4,000万円の赤字であり市の直営では限界がある。指定管理者制度を活用し、民間に管理を委託すべきでは。

- 答** サービスの向上と経費の削減という利点があり、導入に向けて検討します。

碓氷川熱帯植物園 について



- 問** 毎年、450万円ほど経費がかかっている。企業の支店などの誘致利用や3Dプリンターなどのものづくりのラボとして活用するなど、他の活用も検討すべきでは。

- 答** 当面は引き続き、無料のまま、運営方法等の改善を図りながら施設を存続させたいと考えております。

民声クラブ視察報告

※平成30年7月～9月まで

6月24日	／九十九川堤防草刈り		
29日	／学校評議員意見交換会 議会報編集会議 浪漫倶楽部編集会議		
30日	／はたる祭り		
7月2日～5日	／民声クラブ会派視察		
6日	／安小ダディース会議		
7日	／安中青年会議所45周年記念式典		
9日	／鉄道遺産群を愛する会 役員会議		
10日	／磯部温泉祭り警備会議		
11日	／議会報編集会議		
12日	／安小ダディース会議		
14日	／鉄道遺産群を愛する会 総会		
16日	／磯部温泉街提灯飾り		
17日	／消防会議		
19日	／磯部温泉祭り会議		
20日	／ユネスコ理事会		
21日	／山本一太国政報告会		
22日	／高別当地区祭典準備会議		
26日	／磯部温泉祭り会議		
28日	／安中小学校 学校探検		
29日	／ 旧碓氷本社清掃		
30日	／磯部交流会納涼会		
8月1日	／体協磯部支部正副支部長顧問会議		
2日	／磯部温泉祭り予告看板設置他		
3日	／磯部温泉祭り子ども神輿準備会議		
9日	／磯部温泉祭り防護柵設置他		
12日	／SL碓氷号磯部温泉PR		
14日	／磯部温泉祭り		
15日	／ 16日	／ 17日	／磯部温泉祭り片付け
19日	／あんなか祭り 山小屋づくり他		
19日	／谷津夏まつり		
20日	／磯部温泉街陳情書提出 体協磯部支部役員会		
23日	／議長会議員研修会 商工会青年部定例会		
24日	／ユネスコ協会理事会		
25日	／商工会青年部つくしの森納涼祭 出店 安小ダディース高別当草刈り		
26日	／高別当グラウンド清掃 廃品回収 板垣記念館緑陰講座		
28日	／磯部温泉祭り反省会		
30日	／社協支部役員研修会		
9月2日	／磯部地区敬老会		
4日	／議会開会 議案上程等		
6日	／決算審査特別委員会		
7日	／ 高別当育成会会議		
11日	／総務文教常任委員会		
12日	／福祉民生常任委員会		
13日	／経済建設常任委員会		
14日	／安小ダディース会議		
15日	／浪漫倶楽部編集会議		
18日	／一般質問		
19日	／ 議会報編集委員会		
21日	／委員長報告 採決 閉会		
22日	／ユネスコ協会座談会		
23日	／交通安全大会		
25日	／あんなか祭りお囃子練習		
30日	／磯部築クローキングイベント 祭典委員会全体会議		

兵庫県川西市【子どもの人権オンブズパーソン制度について】

●人口…15.8万人 ●面積…53.44km²



子どもの人権オンブズパーソン制度とは
いじめ・体罰・差別・不登校・虐待などに悩む子どものSOSを受け止め、擁護・救済を図るための制度です。



活動内容

- 相談** 相談員が電話や面接で話を聞く。オンブズパーソンが直接保護者等の相談に応じることもしている。
- 調整** 子どもや保護者等の相談者から了解を得たうえで、学校等関係者との関係調整を図る。「対決」や「告発」などではなく、あくまで「橋渡し役」を担う。
- 調査** 相談では解決困難であり、事実関係の調査が必要と判断した場合に、関係機関に対して聞き取り調査などを行う。必要であれば、「報告」や「意見表明」「提言」などを行う。
- 広報・啓発** チラシや電話カードの配布、事務局見学、職場体験、講演会や研修会、居場所づくりサロンの開催など。

平成29年度の相談状況 ●年間ケース数…69件 ●年間相談者数…119人

相談回数を学年別に分けると「小学校高学年」が一番多い。次に中学生。

相談内容 「家庭生活・家族関係」が断トツ。その他、子育てや学校の対応、教職員の指導の問題など。
※いじめは案外少ないです。(1割未満)

ポイント① 「市の機関」から独立している

実施機関や当事者との利害関係をもたない → 子どもの人権救済を最優先に活動できる！

ポイント② 専門性が高い

オンブズパーソンは、法曹界関係者、大学・研究関係者、NPO等の子どもに人権に係る活動内容関係者などから構成。

この事業に係る費用 平成30年度当初予算

年間2765万円

主な経費の内訳

- 人件費
オンブズパーソン報酬(3名)……………846万
相談員報酬(非常勤嘱託4名)……………1398万
臨時相談員賃金……………121万
専門員報償費(14回出務分)……………16万
- 消耗品・印刷代など……………94万
- 使用料・賃借料など(相談室管理費等)178万
- 負担金・補助金など……………67万
- その他(旅費・役務費等)……………27万

平成29年度より文科省から補助金として372万円が入ります。

徳島県神山町【移住定住政策について】 ●人口…5,374人 ●面積…173.30km²

まちづくりにおいては超有名な町です！

山あいの田舎に、IT企業16社、移住161人の誘致に成功！

- ・ワシントンポストで「日本のポートランド」と紹介される。
- ※ポートランド…全米で住みたい町ランキング1位の街
- ・フォブスジャパンで、日本のイノベティブシティの第2位に取り上げられる。



神山プロジェクト 創造的過疎を目指す

過疎化の状況を受け入れ、外部から若者やクリエイティブ人材を誘致する。ITインフラ等を活用し多様な働き方としての価値を高め、農林業だけに頼らない、持続可能な地域を目指す。

NPO法人グリーンバレー

理事長 大南信也
行政の委託を受け活動

- 活動的な内容**
1. 仕事を持った移住者の誘致「ワークインレジデンス」
カフェ、パン屋、ピザ屋、惣菜店、ゲストハウスなどが開業。
 2. 場所を選ばない企業の誘致「サテライトオフィス」
IT系など16社が古民家などを活用し、オフィスを設置。40名の雇用創出。
 3. 職業訓練など後継人材の育成「神山塾」
厚労省の求職者支援訓練制度を活用。移住50%、市内企業への就職10%・カップル10組誕生。

ポイント① 移住定住政策を民間が行った。
多様な人材との交流により新しい町づくりができた。

ポイント② アイデアキラー(出来ない理由を述べ、アイデアをつぶす人)を乗り越える
まずは「やってみる」という姿勢で事業に取り組んだ。

ポイント③ 地域づくりの3要素「よそ者、ばか者、若者」これに加えて、「ホンモノ」が必要という、理事長 大南の考え方

私たちは、小林かつゆきの活動を応援しています！

小林かつゆき 後援会事務所

〒379-0127 安中市磯部 1-11-41(碓氷堂印刷内)
TEL.027-385-8820 FAX.027-385-3527
E-mail: tairin@peach.ocn.ne.jp

毎日更新中！



facebookでは日々の活動をご紹介します。是非ご覧ください。

小林克行 安中 検索

経歴

- 1975 (昭和50年) 安中市磯部に生まれる
- 1988 (昭和63年) 磯部小学校卒業
- 1991 (平成3年) 安中市立第二中学校卒業
- 1994 (平成6年) 前橋育英高校卒業
- 1999 (平成11年) 大東文化大学法学部卒業
- 東京近郊にて不動産会社に就職
- 2004 (平成16年) 安中市に帰郷し業界に従事する
- 2005 (平成17年) (社)安中青年会議所 入会
- 2012 (平成24年) (社)安中青年会議所[第40代・理事長]

現在

- (公社)安中青年会議所シニアクラブ[会員]
- 安中市商工会青年部[役員]
- 安中碓氷ユネスコ協会[理事]
- 鉄道遺産群を愛する会[事務局員]
- 磯部温泉組合[理事]
- 安中市消防団[第3分団第1部・団員]
- NPO法人碓氷峠浪漫倶楽部[会員]
- 家族 妻・長男・長女の4人家族。